

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	重度化した場合や終末期のあり方について、状態の変化があるごとに常に家族の気持ちを受け止め話し合いを繰り返す必要がある。場合によれば、職員に介護をゆだねきりになる。	終末ケアにおける本人と家族の思いや意向を確認する。	できるだけ早期から話し合いの機会をつくり本人と家族の意向を踏まえながら、納得がえられるように説明を行う。また、家族との距離が離れてしまっていたり、疎遠がちな関係には家族が暮らしや介護に関われる場面や機会づくりに努める。	6ヶ月
2	49	どのように暮らしたいか、何をしたいか、誰に会いたいかを日々の行動や表情から汲み取り把握し、又プライバシーに立ち入ることであるので家族の許可を得ながら過去の具体的な情報を伝えてもらう必要がある。	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう支援する。	今までの生活の延長線上であった美容院や飲食店、知人親戚等へ会いに行ったり、訪問してもらう。又、手紙、電話での連絡を取り持つ等その時の本人の気持ちを尊重して、できるだけ個別性のある支援を行う。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。